



—令和5年6月6日（火）15:00～16:40 音楽・文化交流館 大ホール—

【実践発表】 郡山市立高倉小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～



創立 148 周年を迎える高倉小学校は自然豊かな環境にあり、今年度より完全複式学級となりました。未来を見据えて、一人一人を支援しながら「共に生きる力」を育てています。新入学児童は 2 名で 2 学年 6 名と共に同じクラスで学習や生活をしています。学年が違って豊かな関係がつかれるように、様々な配慮や工夫をしています。4 月は環境の変化に適応できるように、スタートカリキュラムに沿って時間割を工夫し、幼保で学んだ遊びを生活や教科に取り入れて段階的に教科の授業に移行しています。また、1 学年を温かく迎えるために、2 学年が「1 年間の学校生活」の絵を描いて教室に掲示したことや、1 学年を囲んで朝の会を実施している様子等（上の写真）を紹介しました。さらに、算数や音楽の授業風景を動画で見せていただき、子どもたちが自己を発揮して生き生きと活動している様子と校長先生はじめ先生方が複式で学習を進める大変さを感じました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 高倉小学校の発表について

- ・新入学児童が入学して、急激な変化にならないように、柔軟にスタートカリキュラムを作成し、実践していることは、幼保の立場としても安心して送り出せると感じました。
- ・「複式学級」「渡り」の授業などの様子を、動画等を通して詳しく聞くことができ、大変勉強になりました。先生方は子どもの発達段階を踏まえ、個々を受け入れながら丁寧に関わっているので素晴らしいと思います。高学年の様子も見てみたいです。
- ・実践発表の中では、「複式学級」の課題についても触れていましたが、授業の進め方や人間関係の点についても興味を持ちました。

☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・安心して学校生活を送るためには、幼保で総合的に遊びながら学びを深め、「学校は楽しいところ」という印象を持たせて小学校へ繋げたいと思いました。

《参加者からのアンケートから》

- ・高倉小学校の幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムや複式学級についての貴重なお話を伺い、幼保の立場でも異年齢児童クラスがあるので大変参考になりました。（保育所：参加者）
- ・保育所で担当した子どもが、高倉小学校で元気に過ごしている様子を映像で見ました。成長している姿を拝見し感動しました。（保育所：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。